

日本製鉄グループ内で発生した4件の災害を情報共有します。
 類似災害防止に活用下さい。

<日本製鉄グループ災害の概要>

| | | |
|---|-------|--|
| 1 | 1/10 | 環境・エネルギーセクター |
| | ・被災者 | 58歳 太平電業(株) [1次] |
| | ・休業見込 | 未定 |
| | ・傷病名 | 右股関節捻挫・右下肢打撲擦過傷・左下肢打撲擦過傷 |
| | ・概要 | 場内を移動中、後方から接近してきたフォークリフトと接触して被災 |
| 2 | 1/11 | 日鉄ハードフェイシング(株) 九州製造所 |
| | ・被災者 | 63歳 溶材製造グループ (戸畑) |
| | ・休業見込 | 2~3週間 |
| | ・傷病名 | 右示指開放骨折 第一関節先切断 中指擦過傷 |
| | ・概要 | 設備メンテナンス後の立ち上げ作業にて、ロールに指を巻き込まれた。 |
| 3 | 1/25 | 東日本製鉄所 鹿島地区 |
| | ・被災者 | 61歳 鹿島コークス工場 化成課 |
| | ・休業見込 | 30日 |
| | ・傷病名 | 第一腰椎破裂骨折 |
| | ・概要 | 配管水漏れ部の点検作業中、脚立を昇っている際に転落し腰部を負傷した |
| 4 | 1/26 | 左手 小指末節骨 骨折 |
| | ・被災者 | 35歳 設備部機械整備課 |
| | ・休業見込 | 2日 |
| | ・傷病名 | 左手 小指末節骨 骨折 |
| | ・概要 | 錫フィルター交換時、フィルターの上部カバーを固定しているボルトが固着していた為、ハンマーとレンチを使ってボルトを緩めようとした際、誤って小指を叩いた |

休業災害速報（協力会社）

| | | | | |
|------|---------------------------------|--------------|----------------------|------------|
| 発生箇所 | 環境・エネルギーセクター | 発生日時 | 2023年 1月10日（火）8時06分頃 | |
| 発生場所 | 広畑バイオマス発電所建設工事 | | 区分 | 建設工事 |
| 被災者 | 所属 | 太平電業(株) [1次] | 職種 | 電計監督 |
| | 氏名 | A 氏 | 年齢 | 58才 |
| | | | 勤続 | : 10ヶ月 |
| | | | 経験 | : 29年 |
| | | | 入現日 | : R4年3月15日 |
| 傷病名 | 右股関節捻挫・右下肢打撲擦過傷・左下肢打撲擦過傷 | | 休業見込み | 未定 |
| 被災概要 | 場内を移動中、後方から接近してきたフォークリフトと接触して被災 | | | |

7:00 朝礼・KY ミーティングを実施。

8:06 被災者 A は、ボイラ電計工事の進捗確認のためボイラ棟・タービン棟（BT）間を移動中、後方から接近してきた耐火物パレットを積載した築炉業者のフォークリフトに後背部から接触され、倒れて被災した。
近くにいた1次業者電計所長が災害を現認し、元請副所長へ連絡。

8:19 元請副所長が救急車を要請。

8:25 救急車が到着し、塚崎病院へ搬送。

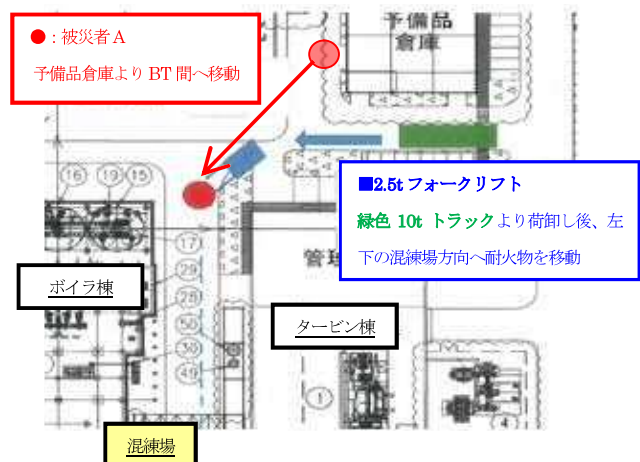
9:00 塚崎病院に到着し、治療開始。
医師より右股関節捻挫・右下肢打撲擦過傷・左下肢打撲擦過傷と診断。

13:00 現場事務所に戻り、発生状況を確認。

【概況図】



災害場所写真



平面図

※フォークリフトの運転者からは、積載パレットにより前方が見にくい状況だった。

休業災害速報(社員)

| | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------------|------|----------------------|---------|---------|
| 発生事業所 | 日鉄ハードフェイシング(株) 九州製造所 | | 発生日時 | 2023年1月11日(水) 9時 2分頃 | | |
| 発生場所 | 溶接ワイヤー製造ライン | | 作業区分 | 定常 | | |
| 被災者 | 所属 | 生産技術部 | 役職 | 一般 | 勤続年数 | 17年 4ヶ月 |
| | | 溶材製造グループ(戸畑) | 年齢 | 63才 | 作業経験 | 12年 4ヶ月 |
| | 氏名 | A 氏 | 性別 | 男・女 | (構内経験) | 17年 4ヶ月 |
| 傷病名 | 右示指開放骨折 第一関節先切断 中指擦過傷 | | | | 休業見込み日数 | 2~3週間程度 |

災害の概要 設備メンテナンス後の立ち上げ作業にて、ロールに指を巻き込まれた。

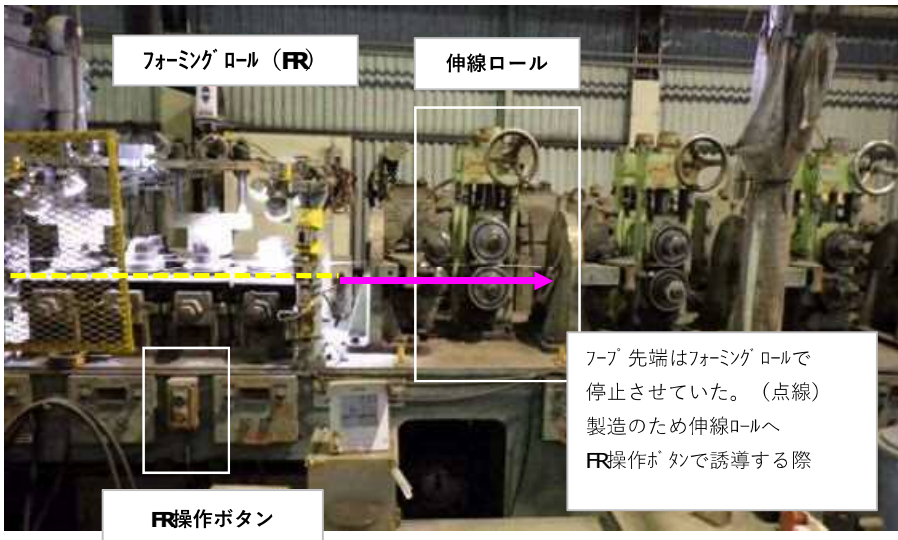
昨年末 設備メンテナンスで伸線ロールの取替を実施(伸線ロールに材料未通板の状態にて年越し)【図-1】

発災日

- 8:00 溶材製造グループにて始業ミーティング実施後、作業開始
- 8:50 ワイヤー製造ライン立ち上げ準備に入る(各電源投入~ライン内確認)
- 9:02 ワイヤー先端を伸線ロールに送るためフォーミングロール(FR)送りボタンを操作し誘導
この時、動いているワイヤーに手出しして右示指を巻き込まれ
- 9:03 同僚(フラックス製造担当者)が駆けつけ、伸線ロールを開放し救出
- 9:36 救急車にて病院に搬送。
同日、病院にて縫合手術を実施。そのまま2~3週間程度の入院を要するとの診断。

(発生状況の図、写真など)

(ワイヤー製造ライン中央部 図-1))



(被災箇所拡大 図-2))



伸線ロール速度:デジタル表示 3m/min

ロール径:φ160mm(上下同じ) ロールGAP「0」

ワイヤー(フープ)寸法 FR通過時φ4.8mm

休業災害報告書(社員)

| | | | | | | |
|-------|-----------------------------------|--------------|------|------------------------|--------|-----------|
| 発生箇所 | 東日本製鉄所 鹿島地区 | | 発生日時 | 2023年 1月25日(水) 21時00分頃 | | |
| 発生場所 | 鹿島コークス工場 硫酸設備 | | 作業区分 | 点検作業 | | |
| 被災者 | 所属 | 鹿島コークス工場 化成課 | 役職 | 一般 | 勤続年数 | 42年10ヶ月 |
| | | | 年齢 | 61才 | 作業経験 | 42年10ヶ月 |
| | 氏名 | A 氏 | 性別 | 男 | (構内経験) | (42年10ヶ月) |
| 傷病名 | 第一腰椎破裂骨折 | | | 休業見込み日数 | 30日 | |
| 災害の概要 | 配管水漏れ部の点検作業中、脚立を昇っている際に転落し腰部を負傷した | | | | | |

| | | |
|------|-------|--|
| 災害状況 | 15:30 | 被災者Aと同僚B、班長C、他3名は始業ミーティングを実施し、化成設備の運転業務に従事した。 |
| | 20:00 | 被災者Aと同僚B、班長Cは、凍結により水漏れが発生した化成設備の配管を点検するため、作業前TBMを行い点検作業を開始した。 |
| | 20:45 | 配管の点検に脚立が必要となったため、被災者Aと同僚Bは脚立を準備した。 |
| | 21:00 | 被災者Aは、配管水漏れ部を確認するため脚立を昇っている時に足を踏み外して地上に滑り落ち、その後、うしろ向きに転倒して腰を打った。 |
| | 21:03 | 救急車を要請した。 |

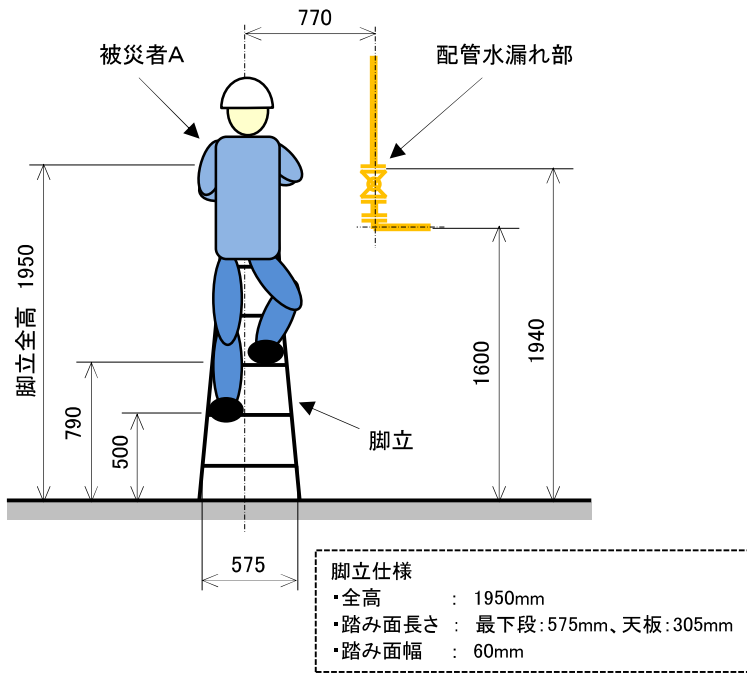


図1 配管水漏れ部の高さとは被災者Aの位置関係



写真1 被災時の状況(再現)

2023 年 1 月 30日

PT LATINUSA,Tbk.

休業災害速報(LATINUSA直営社員)

| | | | | | | |
|-------|--|----------|------|-------------------------------|--------|-------------|
| 発生箇所 | PT LATINUSA,Tbk. | | 発生日時 | 2023 年 1 月 26 日(水) 13 時 45 分頃 | | |
| 発生場所 | 錫溶解槽錫フィルター | | 作業区分 | 定常作業 | | |
| 被災者 | 所属 | 設備部機械整備課 | 役職 | 一般 | 勤続年数 | 14 年 0 ヶ月 |
| | | | 年齢 | 35 才 | 作業経験 | 14 年 0 ヶ月 |
| | 氏名 | A 氏 | 性別 | 男・女 | (構内経験) | (14 年 0 ヶ月) |
| 傷病名 | 左手 小指末節骨 骨折 | | | 休業日数 | 2日 | |
| 災害の概要 | 錫フィルター交換時、フィルターの上部カバーを固定しているボルトが固着していた為、ハンマーとレンチを使ってボルトを緩めようとした際、誤って小指を叩いた | | | | | |
| 災害状況 | 13:15 被災者Aは同僚Bと錫溶解槽にある錫フィルター交換作業を開始した。 | | | | | |
| | フィルターの上カバーを取り外す際、緩まないボルトがあり、エアークラップレンチを使用したが無効であった為、ハンマーとレンチを用いてボルトを緩める作業を実施、数本のボルトを外した。 | | | | | |
| | 13:45 別のボルトを緩める際、被災者Aは、誤って、ハンマーでレンチを握っていた自分の小指を強打した。 | | | | | |
| | 被災者Aは、L社医務室で看護師の応急処置を受けた後、病院へ搬送された。 | | | | | |

(発生状況の図、写真など)



図1 溶解槽錫フィルター



図2 被災時の作業状況



図3 作業に使用したハンマーとレンチ